

# 地域パートナーズ部会

## 各種地域づくり団体の支援・連携の推進



小中学校クリーン作戦【令和元年】

「地域づくり活動を行う団体を支援または育成するとともに、各種団体が連携できる地域づくり」を目指し、取り組みを進めてきた地域パートナーズ部会。

イベントや福祉活動などを行う地域内の各種団体の支援や「軽トラ市」などの地域産物を活かした取り組みに対する支援、あるいは小中学校のクリーン作戦等の地域づくりを進める取り組みなど、多くの活動を地域の皆さんと共に進めてきました。



フードバンク主催：親子で楽しむイベント【令和3年】

活動のきっかけは、個人の何気ない思いや行動から生まれ、そのことが具体的行動につながり、一人、二人と様々な人との関わりから、多方面へ発展していくものも思っています。

例えば、昨年、一昨年と支援させていただいた「フードバンクさんぽく」の取り組みも「地域の子どもたちを守りたい」という代表方の思いから活動が始まっています。その子どもたちを支えたいという思いは、今では山北のみならず市内や圏域を巻き込み多方面に活動されています。



買い物ツアー「おでかけさんぽほ」【令和3年】

来年度からは、地域で活動をされる皆さんをさらに支援できるよう改善を図りつつ、各地域でどのような取り組みが行われているのかなどの情報共有ができる場を設けたいと考えています。

また、皆さんの思いを具体的な活動につなげられるような取り組みを進めつつ、地域で抱えている課題の解決につながる「買い物支援」や「地域産物の活用」などの取り組みも進める予定です。



加藤 地域パートナーズ部会長

〇〇支援などというと、まるで上から目線で「支援してやっていく」といったふうに取りたくないか？」と少し心配しています。まち協に関わり数年が経過しましたが、そんな気持ちがあります。ただ、言葉はどうであれ、「皆さんがやりたい活動を使いやすいように使ってほしい」という思いです。また、様々な条件が付いて使いにくいとか、手続きが面倒なんと言葉も聞きます。

新たな計画では、そんな皆さんからの言葉も活かしていければとも思っています。

# 地域リーダーズ部会

## 地域の人材の育成の推進

地域リーダーズ部会では、地域の人材の育成を推進する活動を主に取り組みを進めてきました。

地域の皆さんが「まちづくり」を楽しみながら学び、興味を持ってもらえる機会として「地域づくり楽習会」を年1回開催していますが、今年度は感染症の状況を鑑み、中止となりました。

これまでの取り組みから見えた課題としては、周知方法の改善、開催日や開催時間、開催方法の検討があがっています。



地域づくり楽習会で参加者同士の創作作業【平成30年】



小中学校における地域を学ぶ体験（小学校稲刈り）【令和3年】

人材育成は、子どもたちにとっても大切なことと捉え、小中学校で地域の生業や文化を知り、学ぶ取り組みにも支援をしてきました。子どもたちが学校の授業の中で地域の人と関わり地域を学ぶことは、日常生活で知りえない山北の魅力や誇りの発見につながる取り組みです。これからは支援を継続しながら、「学ぶ」から「地域のためにやってみよう」を手伝える支援、仕組みを目指していきます。

来年度からは、これまでの取り組みを改善しながら地域の皆さんや子どもたちが知る機会、学ぶ機会は継続して支援をしていく予定です。そのほかに、地域の皆さんが気軽に集い、おしゃべりからのつながりでお互いを少し助けられるような「集い場」づくりへ向けて、どんなことが必要かを検討し少しずつ動き出していきたいと思えます。



小中学校のあいさつ運動（のぼり旗作成）【平成30年】



岩崎 地域リーダーズ部会長

地域リーダーズ部会では大人も子供も地域やまちづくりを学ぶ機会を今後も支援をしていきます。知ること、学ぶことから、地域の未来を一緒に考える仲間が増え、地域が元気になるればと思っています。また、第3次まちづくり計画におけるリーダーズ部会主管部分の検討の中で、「さんぽく会館リニューアル時に賑わいを！」の声があり、これを発端に現在実現に向けた調整が始まっています。内容や日時はこれからですが、ひとつの声から始まるまちづくりの「賑わい」をどうぞお楽しみ！